東亞經濟研究所
京都帝國大學經濟學部內

年四回（二月、五月、九月、十二月）發行

東亞經濟論叢

第貳卷　第參號

昭和十七年九月

東印度農林業の性格……經濟學博士　目崎憲司
佛印に於ける協同組合について……經濟學博士　松岡孝兒
北支の小作制度……經濟學博士　八木芳之助
江北の鹽墾公司考……經濟學士　天野元之助
清代貨幣考……經濟學士　穗積文雄
支那航域に於ける日英船……經濟學士　佐波宣平
支那女子紡績勞働者創出過程の特質……經濟學士　岡部利良
南方物價對策の諸問題……經濟學博士　谷口吉彥
附錄　南方文獻目錄

（禁轉載）

書肆　有斐閣　發賣

東印度農林業の性格

目崎憲司

目次

はしがき
第一章　序論
第二章　農林産物の概觀
第三章　農林業の構成及び特質
第一節　農林業の構成
第二節　農林業の特質

はしがき

この小論文は嘗名蘭領印度の農林業を敍述したのであるが、記述の便宜上蘭領印度といふ名前を踏襲した。この點讀者各位の御諒承を乞ふ。

第一章　序論

光と熱及び濕度に惠まれたる蘭印は農林業を生命とするのである。農林業あるが爲めに蘭印住民の生存が確保され、又蘭印及び和蘭本國の繁榮を齎らしたと謂ふべきであらう。

然しながら、農林業の蘭印に對する重要性は住民の立場と和蘭人及び和蘭本國の立場とに依つて必ずしも同一でない。本來的に謂はゞ、個別經濟の發展はそれと繋りをなす他の個別經濟の發展を齎らすのであり、又かくして個別經濟の綜合である國民經濟の發展が招來し得られるのであるから、住民が經營する農林業の發展は和蘭人

及び和蘭本國の歡迎する所でなければならない理である。然るに蘭印の農林業に付いては、住民と和蘭人及び和蘭本國との對立關係が生起したのであり、蘭印農林業に關し先づ第一の問題を提示するのである。

右の問題に關し結論より謂はゞ所詮和蘭及び和蘭人の搾取主義に歸一するであらう。而して歐米諸國の植民政策が一樣に搾取主義に終始してゐる以上、蘭印に於ける和蘭の農林業政策が他の歐米諸國の植民政策と軌を一にしても不思議ではなく、從つて又右の如き問題の提示自體も無意味である感がないではない。然しながら結論としては蘭印に於ける和蘭の農林業政策が他の歐米諸國の植民政策と同一の指導精神に基くとしても、それは結論であつて、かゝる結論附けをなす道程は吟味の要があり、又或は蘭印に於ける和蘭の農林業政策と他の歐米諸國の植民政策との間に指導精神乃至はその具體策に於て多少の相違があるを發見しないとも限らないと思ふ。

蘭印の住民インドネシヤは樂天主義であり、生活を維持し得れば滿足するのである。その半面智能は低く、向上心が乏しく、個別經濟に付いても發展を起動する積極性が薄い。

如此きインドネシヤの性格は先天的なるものもあるであらう。或は又資源に惠まれ衣食住を得るに要する犧牲が少いこと、並びに高溫高濕强光の影響にも基くであらう。或は又歐米先進國若しくはその國民の壓迫乃至搾取主義にも因ることが少くないと思ふ。インドネシヤの性格に關する檢討は本論の範疇外に屬するのであるから、これ以上の言及を避け、たゞ以上に掲げたる性格を前提として蘭印農林業の特質を吟味したい。

蘭印に於て資源が豐富であり、生活に要する犧牲が少いこと、而して又住民の智能が低く向上心が乏しいことは、住民經營の農林業の發展を規制する一の要因となつた。要言すれば、住民は生活が出來ればそれで滿足し、

その限度に於て農林業を經營するのである。從つて彼等の農林業は生活に直接關係ある種類に限定され、特に米作を重んじたのである。ムルタテュリ Multatuli——本名デッケル Eduard Douwes Dekker——の言を藉れば、「爪哇人は本質的に農夫である。彼等の生れた土地からは僅かの勞働に對して多くが酬ひられるので、彼等は勢ひ農業に心をそゝられる。特に彼等はその最も熟練した水田の耕作には身も魂も打込んで熱心になる。爪哇人は水田の眞中で成長する。彼等は少年時代からもう父と一緒に田畑へ行つて犁や鋤を持ち父を助けて堰に畑に灌漑用水に働くのである。彼等は收穫によつて自分の年齢を算へ、水田の稻莖の色から季節を計る。彼等は自分と共に米を刈つてゐる仲間の者と一緒にゐる時に我家にゐるやうな落着を感ずる。彼等は米を籾から離すため樂し氣に歌を唱ひ作ら、夜な〳〵米を搗いてゐる村の少女の中から妻を見つける。彼等の犁を引いてくれる二三匹の水牛を所有することが、彼等にとつては微笑ましき理想である。……つまり爪哇人にとつては、米を作ることは、ライン地方及佛蘭西南部に於ける葡萄栽培の如きものなのである。[1]」

如此くしてインドネシヤは本來的には原始的農林業を經營するのであり、家長經濟或は又或る意味に於ける村落經濟を構成するのである。然るに歐洲人、後には又米國人が渡來し、特に和蘭が東印度諸島を支配するや、彼等は自國又は白國人の利益の爲めに農林業の發展を指向したのである。再びムルタテュリに謂はしむれば、「然るに、其處へ外國人が西洋からやつて來て、その國の主人となつて了つたのである。そして彼等はその豐饒な土地から利益を得ようと望んだ。又、歐羅巴の市場により多くの利益を投ずる生產物の爲にその努力と時間とを捧げることをその住民に命じたのである。[2]」

1) Multatuli, Max Havelaar, 朝倉純孝譯, マックス・ハーフェラール, 九七頁。
2) 上揭, マックス・ハーフェラール, 九七・九八頁。

歐米人の農林業經營又殊に和蘭の農林業政策は自國又は自國民の利益を目的とするのであり、從つて住民の本來的經營をその儘に存續することを許さない。詳言すれば、彼等は蘭印に於て世界的需要の大なる農林產物を栽培せしめ、その農業利潤と商業利潤を追及しようとするのであり、住民經營の農林業はこの目的に反せざる限りに於て認められると謂ふに過ぎないのである。

この結果又はこれに關聯し、蘭印の農林業は三つの點に於て性格に變化を受けたのである。その一は蘭印に元來固有しない農林產物の栽培であり、その二は歐米式大規模經營の農林業、所謂農園の發展であり、第三は蘭印農林業の世界市場依存性の生成である。

後述するが如く、蘭印に於ては今日多種多樣の農林產物を產するのであるが、その中、蘭印に固有するものは極めて少いのであり、大部分の品種は外國より輸入栽培したのである。今蘭印農林產物の原產地を見るに、左表の通りであり、蘭印を原產地とする農林產物中特に重要なるものは米と胡椒に過ぎない。

蘭印に固有せざる農林產物の栽培は自然の儘ではその發展を望み難い。從つてこれを促進する爲めには、自由主義經濟の下に栽培者たる住民の收入を增加するか、若しくは統制主義經濟の下に住民に栽培を强制するか、或は又自由主義、統制主義の別を問はず、歐米人企業を奬勵するか、何れかに依らねばならないであらう。而して自由主義經濟の下に於て、輸入種農林產物の栽培に關し、住民の收入を確保する方策は少くとも最初の間は失敗であつた。何故ならば、住民は收入よりも寧ろ感情的に固有の農林業に執着を有つのみならず、農林業の利潤は結局に於て少數の農林產物問屋に吸收されてしまつたのである。[1] 又歐米人企業は十九世紀の前半期に於ては政治的

1) De K. Angelino, Colonial Policy, II, P. 43.

蘭印主要農林産物の原産地[1]

品名	原産地
カポック	熱帯アメリカ
カッサヴァ	南米
甘藷	〃
馬鈴薯	〃
落花生	〃
大豆	南支那及び交趾支那
煙草	アメリカ
ヘヴィアゴム	南米
コーヒー	エチオピア南部
茶(アッサム種)	印度アッサム州
キナ	南米ペルー及びエクワドルのアンデス山中
ココア	南米オリノコ河
油椰子	アフリカ赤道地帯
甘蔗	印度ガンジス河口
玉蜀黍	南部メキシコ
ココ椰子	南米西海岸の北方地域
コカ	ペルー
米	蘭印
ガタパーチャ	〃
肉荳蔻	〃
胡椒	〃
ガンビル	〃

1) 大谷光瑞：蘭領東印度地誌，グレッツァー，敬仁郷繁譯：蘭印の農業經濟，淺香末起：南洋經濟研究より作成。

理由に基き蘭印政府が歓迎しないのみか、寧ろ拒否する政策を採用したのである。従つて輸入種農林産物の栽培は主として強制栽培に依つて行はるゝ外途はなかつたのだ。

蘭印に於ける強制栽培は通常一般的強制勞働の範疇内に取扱はれるのであるが、一般的強制勞働は道路、橋梁等主として土木工事に適用される夫役であり、又一種の租税と解してもよいのであるに對し、強制栽培はコーヒー等に付いて住民に栽培を強制し、生産物は政府の定むる價格にて供出せしむると共に、その一部をレヘント等住民官吏の所得として徴收するのである。従つて或は一般的強制勞働に對し特殊的強制勞働と稱してもよいであ

らう。強制栽培は十九世紀の半ば過ぎ迄ジャバ、スマトラの西海岸及びメナド附近に行はれたのであるが、その最好例はコーヒーに付いて行はれたるプリアンゲル・システム Preanger System である。[*1)]

＊アンジェリノ Angelino に依れば、強制栽培に係る耕地面積は案外少く、強制栽培の最も盛なりし一八四〇―一八五〇年に於てさへ僅か〇・五％であり、一八五五年には三・二％に低下したと。[2)]

歐米式大規模農林業の發展及び蘭印農林業の世界市場依存性は或る程度相關關係に立つ。歐米諸國が大規模の農林業經營をなせる結果として、歐米人が蘭印に渡來するにつれ此處にも西洋式の農林業經營を行ふは當然であるが、大規模經營は大量生產を伴なふを以つて、大市場の存在に條件付けられる。換言すれば、若し蘭印のみを市場とするときは、大規模經營の農林業は生成發展の餘地が甚だ少いと謂ひ得るであらう。而して歐米人又特に和蘭が世界市場を對象として蘭印の農林業發展を指向せる以上、蘭印に於ける農林業の大規模經營化は發展の素地を賦與せられるのである。

國際市場への依存性は世界の景氣變動に影響されることを豫期せねばならないと共に、世界的不況を克服し、又はこれに堪ゆる方策を用意せねばならない。その方策に關し蘭印が參畫せるものに二つある。その一は世界的不況を解消せんとするものであり、主要農林產物に付いて國際カルテルを結成し、その價格を維持せんとするのである。その二は農林業に關し多角經營をなし、或る種の農林產物の不況を他種の農林產物の好況に依つてカバーせんとするのである。

世界的不況と謂つても、その種類强度は多岐多樣である。或は個別的商品に關するものがあり、或は個別的產

1) Preanger System に付いては De K. Angelino, Colonial Policy, II, pp. 18, 19 を參照せられよ。
2) 上揭, Colonial Policy, II, p. 44.

業部門に關するものがあり、更に又全產業部門に通じて起るものがある。又その强度が一樣でないことは敢て謂ふを俟たないであらう。從つて世界的不況對策と謂つても、不況の種類强度に應じそれぞれ考究せねばならないのは勿論である。但し全產業に亘る强度の世界的不況に付いては如何なる對策も効果が甚だ少く、從つてかゝる世界的不況の一環をなす農林業の不況に付いては、前述したるが如き蘭印の對策の効果にも多くの期待をかけ得ないであらう。又農林業のみに存する不況であつても、蘭印の對策たる國際カルテル又は多角經營は要するに個別商品の對策であり、農林業全般の不況に關しては對策の對象が別個の範疇に屬するのであるから、效果は薄いであらう。かくして蘭印が採用したる農林業の不況對策は所詮個別商品の不況に對してのみ望みを囑することが出來ると思ふ。

上來敍述したるが如き蘭印農林業の性格の變化が或る程度在來の住民經營を止揚せしめたるは敢て謂ふ迄もない。然しながら住民の農林業がこれに因つて全面的には揚棄されないのは勿論であつて、歷史と習慣を一朝にして抹消し去ることは不可能である。更に又半面より謂ふに、和蘭の東印度統治の點より見るも、在來の住民農林業を廢滅せしむることは得策でない。西洋式農林業經營は資本主義に立脚するのであり、企業家の利潤追求を目的とするのであるから、住民の利益は勞力の再生產に限定して考慮されるに過ぎず、又總じて謂はゞ、住民の安居樂土と言ふ點も閑却され勝ちである。然るに和蘭は住民の文化向上こそ企圖せず、又希望すらしなかつたのであるが、住民の懷柔には可成りの苦心を拂つてゐたのであり、これが爲めに住民の習慣尊重をモットーとしたのだ。和蘭の植民政策の成功が謳はれたのも實はこの點に歸着すると思ふ。從つて和蘭の住民統治の必要より謂つ

て、住民農林業の保存は要請せられるのである。

更に又住民農林業の發展は農林業經營の觀點よりも肯定せられる。高度資本主義の發展に從ひ多くの國に於ては農林業も資本主義化する傾向を有つのであるが、農林業は工鑛業に比して技術の進歩も顯著ではなく、機械化の程度も低いのであり、殊に勞働費の低廉なる所に於ては資本主義農林業の發展は比較的遲々たる理由を有つのである。而して蘭印は正にその好例と謂ふべきであらう。

蘭印に於て住民農林業の發展が是認せられる經濟上の根據は、第一には勞働費の低廉なるに存するのであり、家長經濟の性質上賃銀として支出せられるものが少く、又賃銀が支拂はれてもそれは比較的低廉である。この外土地に要する資本の少額なることも銘記せねばならない一の事由であり、蘭印の住民は父祖傳來農林耕地を占有し、土地に付いて創設資本も設備資本も殆んど要しない。かくして住民農林業は生産費が低廉となり、資本及び技術の點に於て又經營規模の點に於て歐米人農林業に劣つてゐても、尙且つこれに對し競爭力を有つのである。加之、不況が襲來するも歐米人農園の如く巨額なる固定資本の爲めに累はされることなく、事業の縮小も比較的容易であつて、もともと素朴ながらやり來つた多角經營を巧に活用し不況に卽應して事業の轉換を行ふことが自由であるのだ。

かくして蘭印の住民農林業は生成發展し、その半面に於て歐米人農林業に對し强力なる競爭者となる。この點は歐米人農林業が發展するに從ひ愈々深く認識され來つたのであるが、恐らくは歐米企業家の當初豫想しなかつた所でもあらう。又それと共に住民農林業の生成發展力が、如何に根强いものなるかを裏付けるのではあるまい

か。

蘭印に於ける住民農林業の生成發展の程度從つて、又歐米農林業との競爭性は農林産物の品種に依つて異なるは勿論である。而して蘭印の農林業は多くの場合農林産物工業と一體をなせる關係上、農林産物工業に於ける技術が高度化せるもの程住民經營は歐米人農園に對し競爭性が薄いと謂つてよい。その點は兎も角として、かゝる競爭は競爭の儘に存續するや、歐米企業家の中には住民農林業の生成發展を利用するものがある。製茶業が茶葉を住民の供給に仰ぎ、ゴム製造業者が住民の濡れゴム又は生ゴムを購入するが如きはその主要なる例であらう。かゝる場合、歐米農林業と住民農林業との間に於て或る程度の提携が行はれることゝなる。何故ならば、製茶業者もゴム製造業者も自らの經營又は統制下に於て茶又はゴムの農園を有つことが多く、住民經營と農園經營の農林産物を包括的に原料として附屬工場を經營するからである。

然しながら、蘭印農林業に關し歐米人經營と住民經營との提携は更に他の意味に於て他の部面に於て展開されつゝあるのではあるまいか。その一は經營の分野である。農園經營と住民經營とは農林産物の種類に應じて長所と短所とを異にするのであり、從つて個別經濟上よりも國民經濟上よりも兩者に適格の分野を定むることが得策であるのだ。從つて例へば油椰子は農園經營に、ココ椰子は住民經營に委す傾向が生じてゐる。又米も住民經營を可とするやうである。而して如此き分野の決定は國際情勢の變化と共に層一層重要視せられたのではあるまいか。蘭印は和蘭の植民地であるとは謂へ、國際情勢の惡化に從ひ、經濟上の獨立地域として國民經濟を機構附けることの必要が痛感され、從つて住民の生活安固は漸次重要視され、この點より住民の生活に關係ある農林産物

は住民經營に委すべしとの主張が成立する譯であり、又それと共にかゝる分野の確立はそれだけ蘭印の農林業の發展、從つて又農園の繁榮に役立つと思ふ。尙又かゝる點より謂はゞ、國際情勢の變化は蘭印農林業の性格に付き再度の變化を齎らしたと謂ふべきであらう。

第二章　農林產物の概觀

蘭印の農林產物は多種多樣であり、又その產額も甚だ大であり、蘭印の生產物中第一位を占む。

農林產物の種類はゴム、砂糖、茶、コーヒー、ココア、煙草、コプラ、椰子油（パームオイル）、米、玉蜀黍、トピオカ、胡椒、キナ、カポック、サイザル、麻、チーク等々枚擧に暇なく、熱帶亞熱帶の農林產物は殆んどその全種類を產するのである。更に又農林產物はその用途より見れば、食料品及び工業用原料がある。

農林產物の種類が如此く大なるは、蘭印が熱帶に位置してゐるに因つて、熱帶植物の多樣性を表現したのであり、又面積が甚だ廣大であり、大體に於ては海洋に近きも、雨量、季節風の影響を受くる程度が異なるに基くのではあるが、他方に於て、各地域特にジャバ、スマトラ、ニューギニヤには高峻なる中央山脈が貫通し、低地と高地の双方に於て可能耕地が存するのであるから、地方に依つて溫度を異にし、從つて種類の異なる農林產物を栽培し得るのである。現に海面以下の低地より千米以上の高地に至る迄各種の農林植物を植栽してゐる。

如此く蘭印は平面的及び立體的に地勢を異にし、かゝる自然的條件の多樣性が農林產物の多種性を齎らしたのであるが、その外前述の如く蘭印政府が蘭印に固有しない各種の農林植物を外國より輸入し、その栽培を奬勵し

たることも亦農林産物の多種性を發展せしめたる有力なる素因であらう。

農林産物の生産額が大なることは、高溫、高濕、熾烈なる光線、季節風の影響、地味の良好等に基くのであり、又河川の多いことは灌漑に便益を與ふるのであるが、蘭印政府の農林業助成策が寄與することも大である。これ等の點は既に一言したのでもあり、又今更詳說を要しないと思ふ。

蘭印農林産物の多くは輸出するのであり、この輸出に依つて蘭印及び和蘭經濟の發展を齎らしたのであるが、その半面蘭印經濟の世界經濟に對する依存性が强大であることを物語るのである。

次表は蘭印主要農林産物の生産額と輸出高を示したのである。この兩者に付いて農園經營と住民經營とを區別したるは、前述したるが如く蘭印農林業に於ては、農園經營と住民經營との兩者があり、兩者の競爭が蘭印農林業

蘭印主要農林産物輸出高の世界輸出高に對する比率[1]　(%)

種別 / 年次	キナ*	カポック	胡椒	ゴム	ココ産椰子物	硬質纖維	茶	砂糖*	油産椰子物	コーヒー	ココア
一九三〇年	93	79	75	29	27	29	18	11	7	4	0.3
一九三七年	82	70	79	38	29	25	17	5	19	7	0.2
一九三八年	90	63	85	33	29	27	17	5	24	4	0.2
一九三九年**	×	×	86	37	27	33	19	6	24	×	0.2

* 生産高に於ける比率　** 暫定數字　× 不明　1) Indisch Verslag, 1940, blz. 276 より作成。

に付き重大なる關係を有つが爲めに外ならぬ。尙附表「蘭印主要農林産物輸出高の世界輸出高に對する比率」は蘭印農林業の世界的地位を說明する一の資料となるであらう。

第三章　農林業の構成及び特質

第一節　農林業の構成

蘭印に於て農林業人口は全有業者中如何なる割合を占むるか。一九三〇年國勢調査報告に依れば、全有業者二〇、八七一、〇五〇人中、農林業に從事するものは一三、四五〇、二五六人、全有業者に對する割合は六四・四四％であり、この內ジャバ、マドゥラは八、八九三、六一三人、外領四、五五六、六四三人であり、兩者の比率は前者が六六・一二％、後者は三三・八八％を占む。

農林業の構成、特に農園經營と住民經營との關係並びに各種農林産物の相關關係を從業者數に依つて把握したいのであるが、正確なる資料がない。而して前揭の各種農林産物の生産又は輸出高（表「蘭印主要農林産物生産高表」「蘭印主要農林産物輸出高表」）もこれ等の構成關係を指示するのではあるが、更に耕地面積に依つて蘭印農林業の構成を明にしよう。

（一）農園經營と住民經營の耕地面積　左表「農園の數並びに耕地面積」及び「住民經營の耕地面積」は農園經營と住民經營との相關關係を不完全ではあるが或る程度示すことが出來るであらう。表「農園の數並びに耕地面積」は農園の法律上の性質を基準として農園數と耕地面積を計上したのであるが、これに依れば、一九三九

年農園數は二、四〇〇、總面積二、四九三、九二八ヘクタール、植付面積一、二〇四、二三五ヘクタールである。又表「住民經營の耕地面積」に依れば、一九三九年に於ける住民經營の耕地面積は八、四二八、六四二ヘクタールで

住民經營の耕地面積[1]　　(單位　ヘクタール)

地方別	年次	水田		乾田*		合計		全面積に對する割合(%)
		總面積	一人當り面積**	總面積	一人當り面積**	總面積	一人當り面積**	
ジャバ及びマドゥラ	一九三〇年	3,274,439	0.08	4,371,817	0.11	7,646,256	0.19	57.8
	一九三七年	3,362,426	0.08	4,487,129	0.11	7,849,555	0.19	59.4
	一九三八年	3,367,879	0.08	4,502,872	0.11	7,870,751	0.19	59.5
	一九三九年	3,377,294	0.08	4,522,621	0.11	7,899,915	0.19	59.8
バリ及びロンボク***	一九三〇年	×	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	186,226	0.10	339,229	0.19	525,455	0.29	51.1
	一九三八年	186,230	0.10	368,170	0.21	554,400	0.31	53.9
	一九三九年	187,778	0.10	340,949	0.19	528,727	0.29	51.4
合計	一九三〇年	×	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	3,548,652	0.08	4,826,358	0.11	8,375,010	0.19	58.8
	一九三八年	3,554,109	0.08	4,871,042	0.11	8,425,151	0.19	59.1
	一九三九年	3,565,072	0.08	4,863,570	0.11	8,428,642	0.19	59.2

* 非灌漑用地，家圃，淡水養魚池，棕櫚林，鹽水養魚池及び南バンタム州に於ける燒畑地はこの數字中に含まれない。

** 一九三〇年度の住民人口に依つて算出。

*** 東部ロンボクに於ては一九三四年一月から農業統計が作成されてゐる。從つてバリ及びロンボクに付いては一九三四年から完全なる數字を利用し得ることゝなつた。

× 不明。

1) Indisch Verslag, 1940, blz. 260 より作成。

あるが、この内には外領はベリ及びロンボクの耕地を含むに止まり、スマトラ、ボルネオ、セレベス等外領の大部分は包攝されてゐない。この故にジャバ、マドゥラに付いてのみ農園經營と住民經營とを比較するに、前者は一一・九五%、後者は八八・〇五%を占め、後者の方が遙かに大である。

（三）各種農林産物の耕地面積　左表「農林産物別農園の數並びに耕地面積」は蘭印主要農林産物の農園數及び耕地面積を示す。これに依れば、一九三九年の植付面積の大さにゴム、茶、油椰子、コーヒー、砂糖、ココ椰子、煙草の順序となるのであるが、ゴムの植付面積は、他の農林産物より斷然大であり、全農園植付面積の五一・九四%を占む。

農林産物別農園の數並びに耕地面積[1]　　（單位　ヘクタール）

種別	年次	農園數			耕地面積					
					植付面積			生産面積		
		ジャバ及びマドゥラ	外領	合計	ジャバ及びマドゥラ	外領	合計	ジャバ及びマドゥラ	外領	合計
砂糖	一九三〇年	195	—	195	198,007	—	198,007	198,007	—	198,007
	一九三七年	98	—	98	84,494	—	84,494	84,494	—	84,494
	一九三八年	97	—	97	84,829	—	84,829	84,829	—	84,829
	一九三九年	102	—	102	94,947	—	94,947	94,947	—	94,947
ゴム	一九三〇年	558	554	1,112	228,923	344,091	573,014	155,754	213,496	369,250
	一九三七年	604	593	1,197	227,301	366,435	593,736	195,556	339,015	534,571
	一九三八年	609	593	1,202	228,911	366,860	595,771	193,621	335,792	529,413
	一九三九年	611	588	1,199	235,360	380,267	615,627	189,406	331,560	520,966

ガタパーチャ	一九三〇年	1	2	3	1,135	165	1,300	1,135	—	1,135
	一九三七年	1	2	3	1,139	166	1,305	1,139	161	1,300
	一九三八年	1	2	3	1,139	166	1,305	1,139	166	1,305
	一九三九年	1	2	3	1,161	171	1,332	1,161	171	1,332
フィカス	一九三〇年**	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	48	17	65	2,592	1,213	3,805	2,592	1,213	3,805
	一九三八年	53	17	70	2,679	1,045	3,724	2,679	1,045	3,724
	一九三九年	53	15	68	2,586	851	3,437	2,586	851	3,437
コーヒー	一九三〇年	301	130	431	97,110	33,227	130,337	80,975	19,554	100,529
	一九三七年	325	92	417	90,277	16,894	107,171	84,017	14,735	98,752
	一九三八年	314	87	401	88,585	15,036	103,621	82,946	13,164	96,110
	一九三九年	294	83	377	85,550	13,617	99,167	79,599	11,866	91,465
茶	一九三〇年	280	43	323	98,589	28,407	126,996	85,777	18,275	104,052
	一九三七年	297	38	335	104,829	34,205	139,034	102,843	33,687	136,530
	一九三八年	297	40	337	105,054	33,265	138,319	103,826	33,139	136,965
	一九三九年	299	38	337	105,162	33,226	138,388	103,909	33,028	136,937
煙草	一九三〇年	45	72	117	32,491	20,208	52,699	32,491	20,208	52,699
	一九三七年	36	47	83	29,367	13,013	42,380	29,367	13,013	42,380
	一九三八年	40	47	87	28,809	13,228	42,037	28,809	13,228	42,037
	一九三九年	41	48	89	24,376	12,146	36,522	24,376	12,146	36,522
キナ	一九三〇年	112	13	125	16,141	2,949	19,090	13,533	2,035	15,568
	一九三七年	99	9	108	15,392	1,831	17,223	13,838	1,305	15,143
	一九三八年	96	11	107	15,179	1,832	17,011	13,536	1,449	14,985
	一九三九年	99	11	110	14,971	2,078	17,049	13,366	1,451	14,817
ココア	一九三〇年	20	1	21	5,358	4	5,362	3,923	4	3,927
	一九三七年	29	8	37	6,086	113	6,199	5,339	72	5,411
	一九三八年	30	8	38	6,172	293	6,465	5,393	77	5,470
	一九三九年	30	7	37	6,420	260	6,680	5,423	82	5,505

ココ椰子	一九三〇年	140	558	698	7,718	43,914	51,632	4,782	23,829	28,611
	一九三七年	141	524	665	6,897	42,249	49,146	5,880	32,531	38,411
	一九三八年	142	523	665	7,391	42,470	49,861	6,165	33,076	39,241
	一九三九年	148	532	680	7,735	43,757	51,492	6,365	33,974	40,339
コカ	一九三〇年	—	—	—	—	—	—	—	—	875
	一九三七年	50	2	52	752	2	754	677	—	677
	一九三八年	50	2	52	731	2	733	661	2	663
	一九三九年	48	2	50	752	2	754	738	2	740
油椰子	一九三〇年	4	44	48	707	60,528	61,235	144	29,873	30,017
	一九三七年	5	58	63	789	82,484	83,273	753	69,460	70,213
	一九三八年	6	54	60	890	91,417	92,307	711	73,799	74,510
	一九三九年	8	58	66	1,385	103,708	105,093	698	75,317	76,015
肉豆蔻	一九三〇年	15	11	26	1,228	970	2,198	828	897	1,725
	一九三七年	15	17	32	1,659	1,085	2,744	1,201	951	2,152
	一九三八年	15	19	34	1,546	1,166	2,712	1,293	1,094	2,387
	一九三九年	14	18	32	1,377	1,186	2,563	1,160	1,072	2,232
カポック	一九三〇年	116	24	140	1,398	320	1,718	927	231	1,158
	一九三七年	174	39	213	2,454	239	2,693	2,318	95	2,413
	一九三八年	173	38	211	2,654	226	2,880	2,283	95	2,378
	一九三九年	167	39	206	1,780	192	1,972	1,726	69	1,795
胡椒	一九三〇年	20	8	28	1,398	320	1,718	927	231	1,158
	一九三七年	34	12	46	2,454	239	2,693	2,318	95	2,413
	一九三八年	30	13	43	2,654	226	2,880	2,283	95	2,378
	一九三九年	26	12	38	1,780	192	1,972	1,726	69	1,795
ガンビル	一九三〇年	—	15	15	—	1,941	1,941	—	1,674	1,674
	一九三七年	—	12	12	—	1,507	1,507	—	1,482	1,482
	一九三八年	—	10	10	—	1,745	1,745	—	1,637	1,637
	一九三九年	—	8	8	—	1,748	1,748	—	1,739	1,739

セレ油	一九三〇年	90	9	99	10,525	354	10,879	8,790	142	8,932
	一九三七年	90	4	94	6,667	74	6,741	5,713	66	5,779
	一九三八年	101	2	103	6,941	26	6,967	6,404	20	6,424
	一九三九年	86	2	88	6,453	26	6,479	5,931	26	5,957
合計***	一九三〇年	×	×	×	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	2,046	1,474	3,520	583,149	561,749	1,144,898	538,045	507,881	1,045,926
	一九三八年	2,054	1,466	3,520	584,164	569,003	1,153,167	536,578	507,878	1,044,456
	一九三九年	2,027	1,463	3,490	591,795	593,427	1,185,222	533,117	503,423	1,036,540

* 硬質繊維及びカッサヴァについては数字不完全のため掲記されてゐない。

** 同年度の数字は不完備のため掲記されてゐない。

*** 農園數の合計は重複せる數字を含む。

× 不明。

1) Indisch Verslag, 1940, blz. 286～288 より作成。

農林産物別農園の耕地面積割合

種別	植付面積（ヘクタール）	割合（%）
砂糖	94,947	8.01
ヘヴィアゴム	615,627	51.94
ガタパーチャ	1,332	0.11
フィカス	3,437	0.29
コーヒー	99,167	8.37
茶	138,388	11.68
煙草	36,522	3.08
キナ	17,049	1.44
ココア	6,680	0.56
ココ椰子	51,492	4.34
ココカ	754	0.06
油椰子	105,093	8.87
肉荳蔻	2,563	0.21
カポック	1,972	0.17
胡椒	1,972	0.17
ガンビル	1,748	0.15
セレ油	6,479	0.55
合計	1,185,222	100.00

第二節　農林業の特質

蘭印農林業は農園經營と住民經營とに分れ、兩者が拮抗せることは度々述べたる所であり、これ以上説明を要しないと思ふ。

蘭印農林産物の國際市場依存性に付いても再三觸れたのであるが、農林産物の多くが世界各地域に輸出され、國際競爭に曝されるのであるから、若し國際カルテルが成立しない場合には、國際市場に於ける競爭上の優位は比較生産費の低廉に依存するのである。又假令國際カルテルが成立したとしても、例へばそれが價格、生産額を協定する場合には、品質に關する競爭は依然として行はれるのであるから、經營合理化を要請する。而して蘭印は熱、光、雨量、地味等の自然的條件が良好なるに加へ、農林技術が政府の政策及び專門家の研究に依つて相當高度に發達し、生産費の低下又は品質の向上を齎らす一の素因を形成してゐるのであるが、その外蘭印の勞力及び土地代が相對的意味に於て低廉なることも農林業の生産費の低下に役立ち、その生成發展に寄與することが大であらう。この點に關する一の好例は砂糖とコプラに於ける蘭印と比島の生産費比較に表はれてゐると思ふ。

上述したる點以外にも、主として自然的條件に基く蘭印農林業の優位があり、生産費の低廉を齎らすのである。蘭印に於ても一年生農林産物の植付及び收穫期は大體一定してゐるのであるが、例へば米に於けるが如く、同じ地域でも植付收穫期を異にしても差支ないものがある。かゝる植付及び收穫期の多樣性は當該農業部門全體と各個別經濟に對して二樣の影響を與ふる。その一は所謂季節勞働者 Saison-arbeiter が比較的少いことであり、從つて季節勞働に伴なふ賃銀騰貴を避け得る點である。その二は農産物の加工業の操業度に比較的恒久性を有た

しめ、從つて又その經營規模を比較的最適度に決定し得る利益もある。又これと共に、右加工業に於ては原料たる農產物のストックが然らざる場合よりも少くなるのである。

更に又、一般に蘭印の農林產物は生長が早く、植付より收穫の期間が短いのであるが、農林產物中には一箇年數回の收穫があり、或は數毛作し得るものがある。例へば甘蔗は臺灣に於ては植付より收穫迄に一年半近くを要するに反し、蘭印では一年で成熟する。又油椰子は數回の收穫があり、米も二毛作し得るのである。而して成熟期間が短く、數回に亘つて收穫し得るものは、又操業度の恒久性と經營規模の最適度に關して有利となる。尙またゴムの如きは殆んど常時的にタップし得るのであるから、ゴム工場は最適度の經營規模の下に絕へず同一の操業度を維持することが出來る理であるのだ。

上來、蘭印農林業の優位に關し若干の考察を加へたのであるが、要之、前述の優位は第一には自然的條件に基くのであり、次ぎには社會上――土地の廉價は土地制度に基くといふ意味に於て社會的の性質をも帶びると思ふ――及び經濟上の事由に因るのである。而して經濟上の事由の中には例へば低賃銀の如き自然的自律性を帶びるものもあるが、又例へば農林技術の改良奬勵の如き政府の政策に屬するものも少くない。更に又、右の如き國民經濟的事由の外に經營經濟的事由もある。自然的條件に卽應して操業度又は經營規模を最も有利に又は最も適度に決定するはこれである。以下蘭印農林業の經營經濟的面より深く考察しよう。

先づ蘭印農林業の經營規模に論及したいのであるが、住民經營は資料が十分整はないから、姑く考察の範圍外に措き、專ら農園經營を對象として論究したい。

農林業の經營規模を測定する標準としては耕地面積が適當するものであり、又耕地面積には植付面積と生産面積との別が存するのであるが、植付面積を採ることゝしよう。而して植付面積は農林産物の種類に依つて異なるのであるから、農林業の經營規模を測定する場合にも、農林産物の種類別に考察することが適當であらう。

左表は蘭印三種農林産物に付き一農園當りの耕地面積を示すのであり、これに依れば、農林産物の種類とジャバ、マドゥラと外領の區別に依つて經營規模の異なるを知るのである。今その數數を掲ぐれば、砂糖（全部ジャバ、マドゥラ）は九〇〇クタール、ゴムはジャバ、マドゥラ四〇〇クタール、外領六〇〇クタール、コーヒーはジャバ、マドゥラ三〇〇クタール、外領一七〇クタール、茶はジャバ、マドゥラ三五〇クタール、外領九〇〇クタール、煙草はジャバ、マドゥラ七〇〇クタール、外領二七〇クタール、キナはジャバ、マドゥラ一五〇クタール、外領二〇〇クタール、油椰子はジャバ、マドゥラ一五〇クタール、外領一、五〇〇クタール等である。尙參考の爲め全農園を通じ一農園當りの耕地面積表を添付した。

農林産物別農園一個當りの面積[1]　　（單位　ヘクタール）

種別	年次	植付面積			生産面積		
		ジャバ及びマドゥラ	外領	蘭印全土	ジャバ及びマドゥラ	外領	蘭印全土
砂糖	一九三〇年	1,015.4	—	1,015.4	1,015.4	—	1,015.4
	一九三七年	862.2	—	862.2	862.2	—	862.2
	一九三八年	874.5	—	874.5	874.5	—	874.5
	一九三九年	930.9	—	930.9	930.9	—	930.9

ヘヴィアゴム	一九三〇年	410.3	621.1	515.3	279.1	385.4	332.1
	一九三七年	376.3	617.9	496.0	323.8	571.7	446.6
	一九三八年	375.9	618.7	495.6	318.0	566.3	440.4
	一九三九年	385.2	646.7	513.5	310.0	563.9	434.5
ガタパーチャ	一九三〇年	1,135.0	82.5	433.3	1,135.0	—	378.3
	一九三七年	1,139.0	83.0	435.0	1,139.0	80.5	433.3
	一九三八年	1,139.0	83.0	435.0	1,139.0	83.0	435.0
	一九三九年	1,161.0	85.5	444.0	1,161.0	85.5	444.0
フィカス	一九三〇年	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	54.0	71.4	58.5	54.0	71.4	58.5
	一九三八年	50.5	61.5	53.2	50.5	61.5	53.2
	一九三九年	48.8	56.7	50.5	48.8	56.7	50.5
コーヒー	一九三〇年	322.6	255.6	302.4	269.0	150.4	233.2
	一九三七年	277.8	183.6	257.0	258.5	160.2	236.8
	一九三八年	282.1	172.8	258.4	264.2	151.3	239.7
	一九三九年	291.0	164.1	263.0	270.7	143.0	242.6
茶	一九三〇年	352.1	660.6	393.2	306.3	425.0	322.1
	一九三七年	353.0	900.1	415.0	346.3	886.5	407.6
	一九三八年	353.7	831.6	410.4	349.6	828.5	406.4
	一九三九年	351.7	874.4	410.6	347.5	869.2	406.3
煙草	一九三〇年	722.0	280.7	450.4	722.0	280.7	450.4
	一九三七年	815.8	276.9	510.6	815.8	276.9	510.6
	一九三八年	720.2	281.4	483.2	720.2	281.4	483.2
	一九三九年	594.5	253.0	410.4	594.5	253.0	410.4
キナ	一九三〇年	144.1	226.8	152.7	120.8	156.5	124.5
	一九三七年	155.5	203.4	159.5	139.8	145.0	140.2
	一九三八年	158.1	166.5	159.0	141.0	131.7	140.0
	一九三九年	151.2	188.9	155.0	135.0	131.9	134.7

コ　コ　ア	一九三〇年	267.9	4.0	255.3	196.2	4.0	187.0
	一九三七年	209.9	14.1	167.5	184.1	9.0	146.2
	一九三八年	205.7	36.6	170.1	179.8	9.6	143.9
	一九三九年	214.0	37.1	180.5	180.8	11.7	148.8
コ　コ　椰　子	一九三〇年	55.1	78.7	74.0	34.2	42.7	41.0
	一九三七年	48.9	80.6	73.9	41.7	62.1	57.8
	一九三八年	52.0	81.2	75.0	43.4	63.2	59.0
	一九三九年	52.3	82.3	75.7	43.0	63.9	59.3
コ　カ	一九三〇年	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	15.0	1.0	14.5	13.5	—	13.0
	一九三八年	14.6	1.0	14.1	13.2	1.0	12.8
	一九三九年	15.7	1.0	15.1	15.4	1.0	14.8
油　椰　子	一九三〇年	176.8	1,375.6	1,275.7	36.0	678.9	625.4
	一九三七年	157.8	1,422.1	1,321.8	150.6	1,197.6	1,114.5
	一九三八年	148.3	1,692.9	1,538.5	118.5	1,366.6	1,241.8
	一九三九年	173.1	1,788.1	1,592.3	87.3	1,298.6	1,151.7
肉　豆　蔻	一九三〇年	81.9	88.2	84.5	55.2	81.5	66.3
	一九三七年	110.6	63.8	85.8	80.1	56.0	67.3
	一九三八年	103.1	61.4	79.8	76.2	57.6	70.2
	一九三九年	98.4	65.5	80.1	82.9	59.6	69.8
カ　ポ　ッ　ク	一九三〇年	12.1	13.3	12.3	8.0	9.6	8.3
	一九三七年	14.1	6.1	12.6	13.3	2.4	11.3
	一九三八年	15.3	5.9	13.6	13.2	2.5	11.3
	一九三九年	10.7	4.9	9.6	10.3	1.8	8.7
胡　椒	一九三〇年	69.9	40.0	61.4	46.4	28.9	41.4
	一九三七年	72.2	19.9	58.5	68.2	7.9	52.5
	一九三八年	88.5	17.4	67.0	76.1	7.3	55.3
	一九三九年	68.5	16.0	51.9	66.4	5.8	47.2

ガンビル	一九三〇年	—	129.4	129.4	—	111.6	111.6
	一九三七年	—	125.6	125.6	—	123.5	123.5
	一九三八年	—	174.5	174.5	—	163.7	163.7
	一九三九年	—	218.5	218.5	—	217.4	217.4
セレ油	一九三〇年	116.9	39.3	109.9	97.7	15.8	90.2
	一九三七年	74.1	18.5	71.7	63.5	16.5	61.5
	一九三八年	68.7	13.0	67.6	63.4	10.0	62.4
	一九三九年	75.0	13.0	73.6	69.0	13.0	67.7
合計	一九三〇年	×	×	×	×	×	×
	一九三七年	285.0	381.1	325.3	263.0	344.6	297.1
	一九三八年	284.4	388.1	327.6	261.2	346.4	2 6.7
	一九三九年	292.0	405.6	339.6	263.0	344.1	297.0

×不明。

1) 別表「農林産物別農園の數並びに面積」より算出。

一農園當りの面積[1]　　(單位　ヘクタール)

地方別	年次	官營農園		私有地		永代借地		王領租借地		農業租借地		住民よりの短期租借地		合計	
		總面積	植付面積	總面積	植付面積	總面積	植付面積	總面積	植付面積	總面積	植付面積	總面積	植付面積	總面積	植付面積
ジャマドウラ及び	一九三〇年	1,038.6	999.9	4,894.7	615.4	670.9	443.8	770.3	670.8	—	—	1,040.0	1,001.4	988.9	56`.5
	一九三七年	1,466.1	1,320.9	5,176.8	730.2	626.8	433.6	794.9	596.1	—	—	710.1	688.7	895.8	499.3
	一九三八年	1,466.5	1,321.3	5,389.1	720.8	627.9	437.4	816.1	618.3	—	—	685.1	675.7	909.2	503.7
	一九三九年	1,470.1	1,328.6	4,994.6	711.0	626.0	439.7	802.5	641.6	—	—	774.3	763.0	907.9	514.4
外領	一九三〇年	5,840.5	1,506.5	191.5	60.3	743.6	183.7	—	—	2,122.6	747.2	—	—	1,338.8	424.8
	一九三七年	5,339.5	3,639.0	148.2	91.8	578.7	194.4	—	—	2,170.2	924.7	417	417	1,161.1	464.4
	一九三八年	5,339.5	3,657.0	148.2	82.8	589.5	201.6	—	—	2,144.3	934.2	377	368	1,157.1	471.6
	一九三九年	5,343.5	3,808.0	162.8	87.2	594.7	206.9	—	—	2,169.7	978.7	109	97	1,166.2	489.6

蘭印	一九三〇年	1,953.2	1,096.4	4,643.9	585.8	704.2	324.6	770.3	670.8	2,122.6	747.2	1,040.0	1,001.4	1,165.7	495.9
全土	一九三七年	1,950.3	1,610.7	4,601.5	682.6	604.6	323.1	794.9	596.1	2,170.2	924.7	698.9	686.7	1,030.4	481.6
	一九三八年	1,950.6	1,613.3	5,003.7	673.9	610.1	328.1	816.1	618.3	2,144.3	934.2	683.0	673.6	1,034.6	487.5
	一九三九年	1,954.3	1,638.6	4,654.3	667.1	611.5	271.8	802.5	641.6	2,169.7	978.7	769.3	757.9	1,039.1	501.8

1）別表「農園の數並びに面積」より算出。

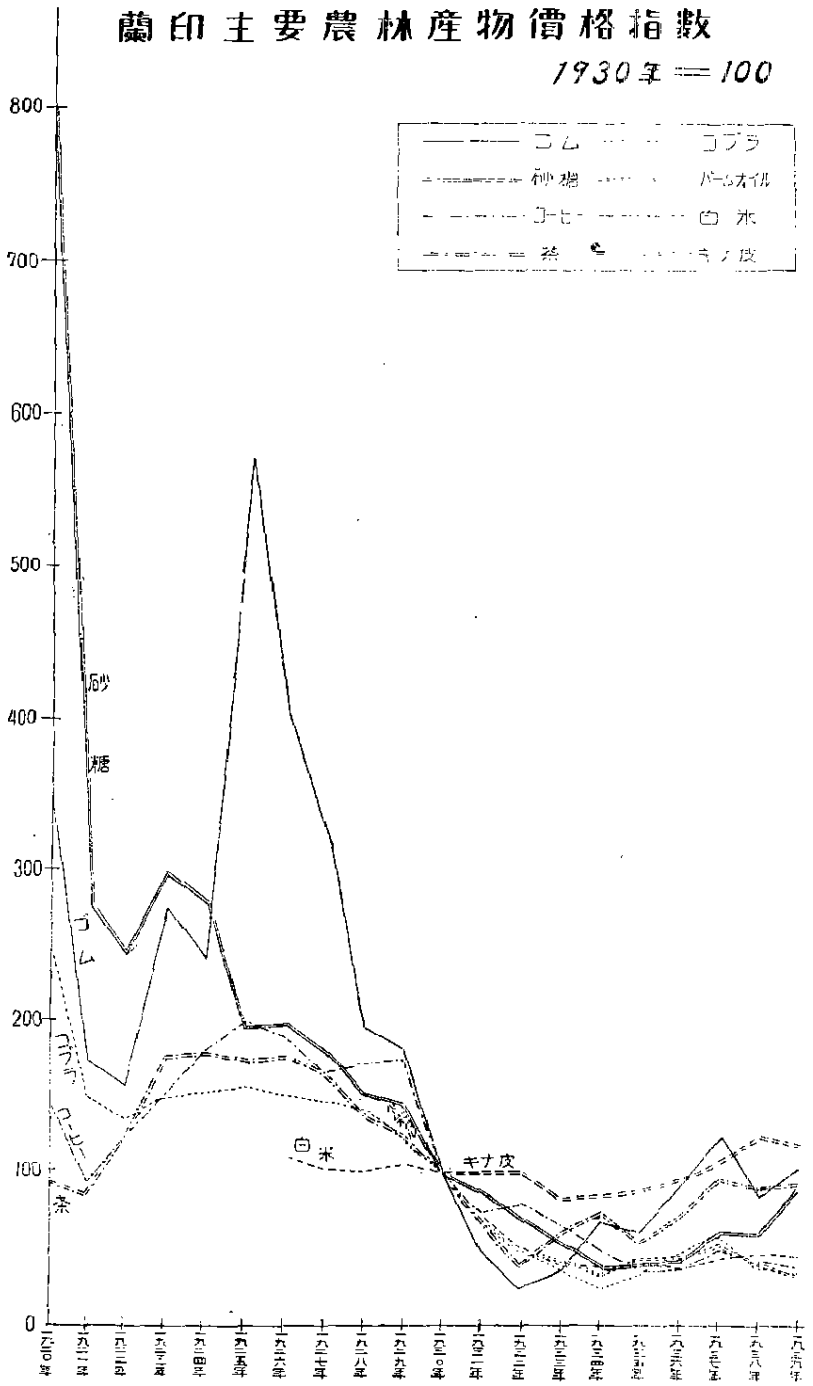
如此く農林産物の種類と地域とに依つて植付面積即ち經營規模を異にするは、恐らくは種類と地域に依つて最適度經營規模が異なるが爲めであり、各農園は可及的に最適度經營規模の下に操業せんとするのであらう。而して農園の最適度經營規模は附屬工場の規模にも依存するのではあるが、管理費の最低、詳言すれば、農園の單位面積當りに要する支配人等、職員の費用を最少ならしむることに依つて決定せられることも多いのではあるまいか。

經營經濟の面より見たる蘭印農林業の他の特質は多角經營である。此處に所謂多角經營とは蘭印の地域内に於て同一の企業が各種の農林産物をそれぞれ別個の經營體又は經濟單位として栽培加工することを意味する。元來多角經營は地域を異にして、例へば蘭印と和蘭、マレー半島等に於て同一企業が多くの經營體を構成することがあり、又色々の産業部門間に於て、例へば農林業と工業、鑛業を經營することもあるが、此處で所謂多角經營とはかゝる廣義の多角經營を除外し、蘭印内のみに於て專ら農林業に付いて行はれる多角經營に限局したい。又如此く限局するに依つて蘭印農林業の特質が鮮明となる。

農林業産物が多種多樣である場合には、特に計畫的でなくとも、農林業のみに付いて多角經營が生成發展する

は自然であるが、蘭印には農林業のみの多角經營が經營性の發揮の爲めに計畫的に行はれてゐるのである。換言すれば、農林業の經營合理化の一方策として多角經營が生成發展した。

抑々、農林産物は氣候の良否、雨量の多寡、暴風雨及び蟲害の有無等自然的條件に因りて毎年豐凶の別があり、それ自體に於て價格の變動を齎らす素因を有するのであるが、かゝる場合の價格の變動は農林産物の各種類又は生産地域別に依つて異なることが多いであらう。更に又蘭印農林産物の如く世界各地域に輸出し、國際市場への依存性が強い場合には、世界景氣の變動に依つて影響されることが多い。元來、世界景氣の變動は農林産物の豐凶に基く場合も少くないのではあるが、農林産物の豐凶と離れて發生することも多い。而して景氣が全産業部門に通じて變動する場合には、各種の農林産物は一樣にその影響を受くるのではあるが、この場合に於ても、各種農林産物の受くる影響の程度に差異あることは少くない。又景氣の變動が特定の産業部門のみに表はれることもあり、それが各種の農林産物に及ぼす影響は種々であらう。特に農林産物中には食料品、纖維原料等生活必需品又はその原料たるものと、奢侈品又は生産財の原料たるものとの別があり、從つて各種農林産物に付いて價格の變動は必ずしも一樣でないと思ふ。要之、農林産物はそれ自體に於て價格變動の素因を包藏し、農林産物の各種類又は生産地域別に依つて價格變動の時期及び幅を異にする外、それが國際市場に依存する場合には、世界景氣の變動に因つて價格が變動し、而してその變動の態樣は農林産物の種類に依つて異なることが多い。これ等價格の變動は蘭印の農林産物に付いても適用を見るのであつて、左の圖表は蘭印農林産物の價格の變動が如何に大であり、又その價格の變動が農林産物の種類に依つて如何に異なるやを覺知せしむるであらう。尙この價格の變動


蘭印主要農林産物價格指數
1930年＝100
800
700
600
500
400
300
200
100
0
砂糖
ゴム
コプラ
コーヒー
茶
白米
キナ皮
一九二〇年
一九二一年
一九二二年
一九二三年
一九二四年
一九二五年
一九二六年
一九二七年
一九二八年
一九二九年
一九三〇年
一九三一年
一九三二年
一九三三年
一九三四年
一九三五年
一九三六年
一九三七年
一九三八年
一九三九年

に付いては更に直ぐ後で吟味したい。

農林産物の價格の變動は農林業に於ける利潤に影響を與ふることゝなるのであるが、今各種の農林産物中に付いて多角經營をなすときは、或る程度景氣の影響を平均化することを得、農林業の危險分散、利潤の安定化に役立つことが出來るのである。尤もこの場合如何なる種類の農林産物を選擇して組合せをなすべきやは十分の研究が必要であり、又かく選擇されたる農林産物の經營規模を如何に定むるやも檢討すべきことは勿論であるが、何れにするも、選擇されたる各種の農林産物を適度の規模の下に經營するときは、その綜合體である企業は多角經營體となり、危險分散を期し得るのである。

蘭印の農林産物の多くに付いて國際協定が成立してゐるのであり、これに依つて輸出及び生産額が統制され、その結果價格も比較的安定するやう機構附けられてはゐるのであるが、この國際協定のみに依つて價格の維持、利潤の安定を確保し得ない。何故ならば、農林産物の豊凶は自然的條件の制約を受くることが大であり、景氣の變動も國際協定の支配力の埒外に出づることが多いのみならず、國際協定は屢その構成自體に於て統制力を薄弱ならしむる素因を有つからである。

今蘭印主要農林産物の價格の變動を吟味し、又それを國際協定――從つて又これに基く蘭印政府の統制策――との關聯に於て考察せんが爲め、前掲したる圖表「蘭印主要農林産物の價格指數」を再び考察の對象としよう。右の圖表に依れば、一九二〇年より一九三九年の間に於て、各種の農林産物の價格は大體に於て同一の變動傾向をとつたのであり、一九三一年より一九三四年迄の世界的不況を底とし、その以前は相當高く、その以後は漸次

回復の跡を辿つてゐる。然しながら、農林産物の種類に依つては價格變動の時期は必ずしも一致してゐない。例へば一九二五年ゴムとコーヒーは最高價格を示してゐるが、砂糖と茶は前年より下落し、特に砂糖は下落が甚しい。又一九三二年にはコーヒーとキナ皮の價格は前年に比し上騰又は同一なるに反し、ゴム、砂糖、茶、パーム油、コプラ、白米に暴落してゐる。更に又各種農林産物の最低最高價格を一九二〇年を共通標準とする指數に依つて表せば、ゴムは二八より五七〇、砂糖は三八より七九四、コーヒーは三四より一九九、茶は三八より一八〇、コプラは二七より二四九、パーム油（一九二九年以降）は三〇より一三七、白米（自一九二一年至一九二五年を除く）は三七より一一二、キナ皮（一九三〇年以降）は八〇より一二六迄變動してゐるのである。

然らば國際協定の成立と農林産物の價格の變動は如何なる關係にあるや。曩にゴム、砂糖、茶及びキナに付いて國際協定の成立を述べたのであるが、コーヒーに關しては世界最大の生産國たるブラジルは夙に自國産のコーヒーに付き供給制限に依る價格釣上策 Valorization をとりたる外、一九三六年には中南米九箇國がコーヒーの輸出制限を目的とする國際協定を締結したるが爲めに、蘭印産のコーヒーも或る程度價格の維持に均霑し得たのである。仍つて以下これ等の國際協定を中心として當該農林産物の價格變動に考察を加へよう。

ゴムに付いては一九二二年スティブンソン協定が成立したのであるが、これは蘭印その他の地域が參加せず、效力は薄弱であつた。從つてこの協定は姑く度外視し、一九三四年結成せられたる國際協定を對象としたい。一九三四年以降ゴムの價格は大體上昇過程を辿り、又それ以前に比し著しく安定してゐるのであるが、それでも尙相當の高低があつた。又砂糖に付いては一九三一年チャドボーン協定が成立し、價格は比較的安定してゐたとは

謂へ、漸落歩調をとつたのである。これはチャドボーン協定が專ら砂糖輸出國に依つて結成せられ、自給自足策の下に增產を續ける地域が加盟しなかつた爲めに、統制力が弱かつたことにも基くのであらう。而して一九三七年更に强力なる國際協定が結成せられて以來は、砂糖の價格は少しく上昇傾向を示したのである。何れにするも、砂糖の國際協定が成立して以來、その價格が從來に比しより安定せることは明白であると思ふ。更に又茶に關しては一九三〇年國際協定が成立したのであるが、價格は却つて可成りの幅を以つて下落した。これは恐らく右の協定が單に製茶業者の私的協定たるが爲めに統制力が薄弱であつたのに基くのであり、從つて一九三三年政府が當事者となつて國際協定を締結するや、茶の價格は大體上昇傾向を辿つたのであるが、この間に於ても年に依り多少の變動を示してゐる。その點は琵琶も角として、茶に關する國際協定の成立を要機として價格がより安定化したることは否認出來ないであらう。次ぎにコーヒーは一九三六年、中南米諸國がカルテルを締結して以來、稍々上騰したるも、元來このカルテルは加盟國所產のコーヒーの品質が多樣なるに因つて價格決定につき相當の自由裁量を認めたる關係もあつたが爲めでもあらう、幾程もなくして價格は再び下落したのである。

キナ皮に關しては夙に國際協定が成立してゐたとは謂へ、もともとキナの大部分は蘭印に於て生產されるのであるから、寧ろ國內的統制の性質を帶びると謂ふも差支ないであらう。而してキナ皮に關する統制が最も强化したるは一九三四年蘭印政府の統制令、又特に一九三七年キナ制限令制定以來のことであり、それ以後はキナ皮の價格は少しづゝではあるが上昇してゐる。

上來叙述したる事實より二の結論を導き得ると思ふ。その一は――蘭印主要農林產物の價格は可成りの變動が

あつたのであるが、國際協定又はこれに關聯する國內統制が行はれて以來は、大體漸騰過程をとりつゝ、比較的安定化せることである。尤もこの點に關し右の國際協定又は國內統制が價格維持の唯一の原因なるやに付いては疑問がある。と謂ふ意味は、價格の維持が世界恐慌が一應經過したる後に起つてゐるのであるから、恐慌後世界市況が漸次的に回復したる以上、國際協定又は國內統制の有無に拘はらず、價格は漸騰過程をとる可能性が多いと解せられるのであり、從つて價格の維持を必ずしも國際協定又は國內統制に歸し難いと謂ふことである。この點はコプラ、パーム油及び白米が國際協定もなく又國內統制も全般的には左程强くないに拘はらず、他の農林產物とほゞ同一の價格步調をとつたことに依つて或る程度裏附けられるのではあるまいか。その點は兎も角として、國際協定又は國內統制が蘭印農林產物の價格の維持に多少の寄與ありたることは否認出來ないであらう。

結論の二は——國際協定又は國內統制の行はれてからも、當該農林產物の價格は多少の變動があり、從つて又これに關聯して價格變動の時期及び幅が同一でないことである。

吾々は蘭印農林業の特質の一たる多角經營を吟味してゐるのであり、これに關聯して農林產物の價格に付き若干の考察を加へた。而してこれより生ずる結論は、國際協定又は國內統制下に於ても、各種の農林產物は多少の程度に於て價格が變動し、又變動の時期及び幅が異なるのであるから、農林產業各部門の利潤も異なるのであり、從つて各種の農林產物の生產を適當に組合はせて經營せば、危險分散、利潤の平均化を達成することが出來る。要するに多角經營の必要性が存するのである。

かくして蘭印の農林企業の多くは多角經營を行つてゐる。ハーヴニア Handelsvereeniging "Amsterdam"、デ

リー會社 Deli Mij. 等はその好例である。特にハーヴェアはジャバ、スマトラ等の各地に亘り各種の農林業を經營してゐるのであるが、スマトラ東海岸、アチェー、タバヌウリ地方だけでもゴム、茶、パーム油、纖維作物等の農園を經營し、ジャバに於ては砂糖、米等を產する。又我が野村農園はボルネオのバンジェルマシンにゴム、スマトラにパーム油、コーヒーを植栽してゐるのであるが、南國產業株式會社もゴム、茶、コーヒー、ココア、キナの農園を經營する。尙政府の農園は殆んど凡ゆる農林業を經營してゐることを斷つておく。

多角經營を行ふ場合、各種の農林產物は最適度又はこれに近き經營規模の下に生產せられるのであるが、これ等の農園は地域を異にする場合と同一地域にて立地せられる場合の別がある。而して後者の場合には多角經營の構成單位たる各農園の經營規模が最適度又はこれに近いのであるから、その綜合たる農林業立地は相當大なる面積を有つことゝなる。換言すれば、多角經營に依る綜合的經營體の規模が大であるから、大規模經營の特質たる生產技術及び組織の高度化は一層發揮せられ、生產性の昂揚を齎らすのである。例へばプロポリンゴの東南約五十キロに所在するハーヴェアの農園は砂糖、米等の多角經營をなすのであるが、延長三十キロ餘に亘る灌漑用水路は巧緻精細を極め、農園の生產能率も甚だ高い。

以上の如くして、多角經營が同一地域に集中するときは、多角經營と大規模經營の双方の利益を同時に收むることが出來るのである。この點は蘭印農林業の特質中でもとりわけ銘記に價すると思ふ。

最近又特に國際情勢の變化と共に蘭印に於てもアウタルキー政策が行はれつゝあつたのであるが、農林業に於てもアウタルキー政策は米の自給自足策に一の表はれを示してゐる。若しこのアウタルキー政策が强化せられる

場合には、蘭印農林業の特質たる國際市場への依存性が相當の影響を受くることを思考し得るのではあるが、この場合、從來の農林産物の一部を例へば米に依つて置き換ふるか、若しくは新しき土地を開拓するかこの二つの方法を考慮し得るのである。而して農林産物の種類に應じて農園經營と住民經營とが大體に於て區分される以上、この點が農林産物の種類の轉換に對し一の桎梏となるのではあるまいか。果して然りとせば、農林業に關するアウタルキーは住民經營に於ける農林産物の種類の轉換か若しくは主として住民に依る耕地の開拓に依つて達成せられねばならないのであるが、その點は兎も角として、農園の産物は依然として國際市場に依存することゝなるであらう。然らば農園の國際市場依存性は止場することなきや、この命題を解決する鍵は蘭印の工業化に存するのである。

単位 金額 千ギルダー

		一九三〇年 農園經營(1)	一九三〇年 住民經營(1)	一九三〇年 合計	一九三一年 農園經營(1)	一九三一年 住民經營(1)	一九三一年 合計	一九三二年 農園經營(1)	一九三二年 住民經營(1)	一九三二年 合計	一九三三年 農園經營(1)	一九三三年 住民經營(1)	一九三三年 合計	一九三四年 農園經營(1)	一九三四年 住民經營(1)	一九三四年 合計
米(2)	數量	2,789,805	17,795	2,807,600	1,816,939	25,161	1,842,159	1,855,292	12,051	1,867,343	1,361,569	12,478	1,374,047	1,371,126	2,661	1,373,987
	金額	253,847	1,428	254,275	127,766	1,574	129,340	98,661	594	99,255	61,093	434	62,127	45,383	79	45,462
ゴム	數量	160,507	90,523	251,030	179,261	90,192	269,453	159,570	61,462	221,032	180,878	115,598	296,476	199,605	185,892	385,497
	金額	128,293	42,915	171,208	54,294	26,297	81,291	28,357	4,802	33,159	26,160	10,872	37,032	57,669	30,556	88,215
カタバーチャ	數量	96	—	96	100	—	100	90	—	90	75	—	35	94	—	94
	金額	533	—	533	577	—	577	487	—	487	150	—	150	233	—	233
コーヒー	數量	22,612	32,994	60,606	29,162	33,628	67,990	43,048	68,312	111,360	22,338	48,681	71,019	34,690	46,359	81,049
	金額	16,915	17,903	34,718	11,281	12,244	23,525	13,864	19,474	33,338	8,432	17,200	25,632	9,425	12,681	22,106
茶	數量	57,655	14,363	72,018	63,839	14,903	78,742	66,339	12,424	78,763	60,076	11,798	71,874	52,461	11,779	64,240
	金額	55,675	13,855	69,530	48,772	11,408	60,180	27,404	5,144	32,548	22,044	4,319	26,363	35,671	8,218	44,889
煙草(3)	數量	42,999	40,418	83,417	45,288	36,237	81,525	39,932	34,568	74,500	26,839	22,596	49,435	29,749	14,915	44,664
	金額	51,464	3,592	55,056	45,952	5,075	51,027	40,285	6,518	46,803	27,901	4,983	31,884	33,167	3,654	36,821
キナ樹皮	數量	11,087	—	11,087	6,036	—	6,036	6,905	—	6,905	6,386	—	6,386	6,418	—	6,418
	金額	10,585	—	10,585	5,778	—	5,778	6,601	—	6,601	4,880	—	4,880	5,061	—	5,061
キニーネ	數量	54	—	54	54	—	54	42	—	42	58	—	58	57	—	57
	金額	1,248	—	1,248	1,431	—	1,431	1,317	—	1,317	1,498	—	1,498	1,399	—	1,399
ココア	數量	1,202	261	1,463	1,300	106	1,406	1,449	102	1,551	1,432	35	1,467	1,600	493	2,093
	金額	1,003	201	1,209	1,244	70	1,314	949	49	998	736	4	740	362	108	470
ココ椰子油 コプラ	數量	25,405	350,112	375,717	20,582	339,589	360,171	27,311	452,639	479,950	29,650	458,314	487,964	27,465	389,990	417,464
	金額	5,044	68,739	73,783	2,774	45,776	48,550	2,407	39,892	42,299	2,308	36,156	38,494	1,114	15,746	16,860
ココ椰子油 椰子油(4)	數量	—	48	48	—	432	432	—	423	423	—	11	11	—	12	12
	金額	—	10	10	—	52	52	—	59	59	—	1	1	—	1	1
コプラ粕	數量	—	54,895	54,895	—	53,119	53,119	—	58,697	58,697	—	66,272	66,272	—	72,270	72,270
	金額	—	3,285	3,285	—	2,892	2,892	—	2,475	2,475	—	2,328	2,328	—	1,419	1,419
椰子油	數量	—	14,493	14,493	—	4,372	4,372	—	16,304	16,304	—	8,528	8,528	—	2,593	2,593
	金額	—	5,484	5,484	—	1,284	1,284	—	2,977	2,977	—	1,393	1,393	—	254	254
ヨカ	數量	367	—	367	303	—	303	209	—	209	161	—	161	105	—	105
	金額	198	—	198	136	—	136	94	—	94	73	—	73	47	—	47
油椰子 核	數量	9,639	—	9,639	12,188	—	12,183	17,887	—	17,887	23,100	—	23,100	25,068	—	25,068
	金額	1,188	—	1,188	1,092	—	1,092	1,192	—	1,192	1,239	—	1,239	969	—	969
油	數量	48,014	—	48,014	61,387	—	61,387	84,973	—	84,973	116,264	—	116,264	121,262	—	121,262
	金額	13,563	—	13,563	12,084	—	12,084	11,844	—	11,844	10,697	—	10,697	8,717	—	8,717
カポック繊維	數量	1,683	19,380	21,063	1,949	19,077	21,025	1,763	17,330	19,093	1,775	20,868	22,643	2,311	18,719	21,030
	金額	1,272	14,397	15,669	953	9,168	10,121	791	7,424	8,215	586	6,865	7,451	612	5,419	6,031
カポック種子	數量	3,129	6,253	9,382	3,841	12,320	15,861	3,307	13,665	16,972	3,318	14,459	17,777	4,310	21,778	26,088
	金額	157	314	471	128	431	559	108	438	546	90	385	475	71	362	433
カポック油	數量	—	2,715	2,715	—	2,577	2,577	—	2,167	2,167	—	2,423	2,423	—	2,757	2,757
	金額	—	745	745	—	408	408	—	296	296	—	310	310	—	220	220
カポック種子粕	數量	—	9,320	9,320	—	22,489	22,489	—	11,999	11,999	—	16,447	16,447	—	10,490	10,490
	金額	—	361	361	—	675	675	—	360	360	—	373	373	—	196	196
肉豆蔻 實	數量	1,436	2,630	4,066	1,589	2,831	4,420	1,462	2,704	4,166	1,421	2,817	4,238	816	3,213	4,029
	金額	848	1,497	2,345	700	1,139	1,839	492	862	1,354	322	596	918	192	726	918
肉豆蔻 皮	數量	227	487	714	247	421	668	188	470	658	217	439	656	142	506	648
	金額	582	1,139	1,721	367	543	910	170	388	558	161	300	461	115	366	481
胡椒	數量	248	32,420	32,668	129	31,834	31,963	119	35,734	35,853	143	44,182	44,330	98	48,397	48,495
	金額	333	39,933	40,266	85	19,839	19,924	56	16,211	16,267	49	13,390	13,439	30	15,414	15,444
ガンビル	數量	4,481	2,188	6,669	3,226	2,571	5,797	3,272	1,951	5,223	3,363	2,138	5,506	3,296	2,664	5,960
	金額	1,286	628	1,914	810	646	1,456	960	573	1,513	752	478	1,230	652	528	1,180
香油	數量	412	596	1,008	350	714	1,064	423	751	1,174	692	1,094	1,786	844	1,273	2,117
	金額	1,402	1,520	2,922	865	1,540	2,405	813	1,615	2,428	1,126	1,998	3,124	821	1,484	2,305
硬質樹脂	數量	65,665	—	65,665	69,974	—	69,974	90,588	—	90,588	94,898	—	94,898	69,672	—	69,672
	金額	22,892	—	22,892	12,431	—	12,431	8,161	—	8,161	8,557	—	8,557	5,811	—	5,811
米糠(1)	數量	—	11,648	11,648	—	19,454	19,454	—	28,093	28,093	—	26,278	26,278	—	29,103	29,103
	金額	—	1,517	1,517	—	2,282	2,282	—	1,135	1,135	—	1,128	1,128	—	1,105	1,105
カッサヴァ澱粉(2)	數量	1,322	113,703	115,025	24,044	169,030	193,094	32,628	193,938	226,566	25,469	146,657	172,126	34,076	111,321	145,397
	金額	2,699	11,182	13,881	1,865	10,213	12,078	1,494	6,802	8,296	1,521	7,040	8,561	2,187	4,954	7,141
椰殼炭	數量	—	120,095	120,095	—	166,500	166,500	—	172,942	172,942	—	110,175	110,175	—	44,052	44,052
	金額	—	8,299	8,299	—	6,299	6,299	—	5,536	5,536	—	2,967	2,967	—	890	890
落花生	數量	—	14,539	14,539	—	12,465	12,465	—	15,224	15,224	—	19,627	19,627	—	10,220	10,220
	金額	—	2,725	2,725	—	1,540	1,540	—	1,898	1,898	—	1,705	1,705	—	745	745
落花生油	數量	—	2,374	2,374	—	2,178	2,178	—	4,294	4,294	—	5,272	5,272	—	4,515	4,515
	金額	—	949	949	—	759	759	—	1,126	1,126	—	1,048	1,048	—	717	717
椰子	數量	—	42,597	42,597	—	39,185	39,185	—	39,763	39,763	—	40,042	40,042	—	42,816	42,816
	金額	—	7,910	7,910	—	5,831	5,831	—	5,123	5,123	—	4,830	4,830	—	4,234	4,234
サゴ椰子	數量	—	51,547	51,547	—	45,699	45,699	—	53,938	53,938	—	34,016	34,016	—	31,041	31,041
	金額	—	3,036	3,036	—	1,794	1,794	—	2,242	2,242	—	1,670	1,670	—	1,015	1,015
藺草	數量	—	9,554	9,554	—	6,086	6,086	—	3,476	3,476	—	5,877	5,877	—	6,204	6,204
	金額	—	1,207	1,207	—	620	620	—	349	349	—	474	474	—	541	541
その他(4)	數量	—	21,237	21,237	—	29,117	29,117	—	20,710	20,710	—	28,117	28,117	7	31,969	31,976
	金額	—	4,834	4,834	—	4,089	4,089	—	3,212	3,212	—	2,950	2,950	12	3,716	3,728
合計	數量	3,253,245	1,081,195	4,334,440	2,341,846	1,187,307	3,529,153	2,436,795	1,344,131	3,780,926	1,960,092	1,265,239	3,225,331	1,985,272	1,148,215	3,133,507
	金額	600,062	259,505	859,567	342,085	164,578	506,663	247,008	137,874	384,882	191,007	125,297	306,304	210,710	115,375	326,085

		一九三五年 農園經營(1)	一九三五年 住民經營(1)	一九三五年 合計	一九三六年 農園經營(1)	一九三六年 住民經營(1)	一九三六年 合計	一九三七年 農園經營(1)	一九三七年 住民經營(1)	一九三七年 合計	一九三八年 農園經營(1)	一九三八年 住民經營(1)	一九三八年 合計	一九三九年 農園經營(1)	一九三九年 住民經營(1)	一九三九年 合計
米(2)	數量	1,392,897	3,765	1,396,662	994,946	3,577	998,523	1,342,002	8,862	1,350,861	1,175,292	6,778	1,182,070	1,576,159	11,275	1,587,434
	金額	35,864	120	35,984	33,954	141	34,095	59,739	369	51,108	41,937	283	45,220	77,556	481	78,037
ゴム	數量	142,578	144,892	287,470	162,458	151,708	314,166	236,179	203,578	438,757	156,758	146,596	303,354	193,623	184,964	378,587
	金額	53,290	15,926	69,216	67,661	19,132	86,793	152,016	144,769	296,785	74,468	59,273	133,741	102,409	92,712	195,121
カタバーチャ	數量	110	—	110	129	—	129	143	—	143	177	—	177	199	—	199
	金額	234	—	234	282	—	282	351	—	351	420	—	420	528	—	528
コーヒー	數量	27,540	53,228	80,768	21,943	72,163	94,106	38,401	67,998	96,399	28,570	39,765	68,335	33,353	32,058	65,411
	金額	6,431	11,944	18,375	5,111	10,437	15,548	8,660	17,008	25,668	6,082	7,383	13,465	6,253	5,405	11,658
茶	數量	53,017	12,622	65,639	56,949	12,629	69,578	51,546	12,170	56,716	58,924	12,997	71,921	60,965	12,576	73,541
	金額	29,636	7,074	36,710	35,099	7,794	42,893	40,102	8,959	49,061	46,091	10,152	56,243	47,219	9,753	57,072
煙草(3)	數量	32,552	16,917	49,469	31,680	16,926	48,606	34,005	15,041	49,046	34,651	14,549	49,200	28,463	6,176	34,579
	金額	33,390	2,329	35,719	35,419	2,427	37,876	38,325	2,835	41,070	35,803	3,034	38,837	25,599	1,269	26,868
キナ樹皮	數量	6,499	—	6,499	9,062	6,345	—	6,957	—	6,957	6,394	—	6,394	—	6,294	6,294
	金額	5,527	—	5,527	7,977	6,623	—	6,623	—	6,623	8,240	—	8,240	7,140	—	7,140
キニーネ	數量	102	—	102	192	208	—	208	192	—	182	164	—	164	—	164
	金額	2,183	—	2,183	3,200	3,677	—	3,677	3,514	—	3,514	4,126	—	4,126	—	4,126
ココア	數量	1,552	24	1,576	1,328	329	1,657	1,311	29	1,340	1,573	27	1,600	1,329	39	1,368
	金額	310	3	313	260	66	326	651	8	659	524	4	528	428	8	436
ココ椰子油 コプラ	數量	30,322	455,072	485,394	29,573	478,950	508,523	32,065	466,176	498,241	32,746	523,738	556,484	34,965	493,994	528,959
	金額	1,615	24,281	25,996	2,499	39,007	41,506	4,028	58,598	62,626	2,300	36,013	38,313	1,676	23,680	25,356
ココ椰子油 椰子油(4)	數量	—	20	20	—	15	15	—	29	29	—	35	35	—	22	22
	金額	—	4	4	—	1	1	—	4	4	—	3	3	—	2	2
コプラ粕	數量	—	64,598	64,598	—	67,302	67,302	—	79,717	79,717	—	91,861	91,861	—	90,791	90,791
	金額	—	1,604	1,604	—	1,802	1,802	—	3,390	3,390	—	3,453	3,453	—	2,812	2,812
椰子油	數量	—	8,462	8,462	—	5,946	5,946	—	27,955	27,955	—	20,020	20,020	—	9,205	9,205
	金額	—	768	768	—	843	843	—	6,093	6,093	—	2,536	2,536	—	879	879
ヨカ	數量	125	—	125	117	—	117	133	—	133	41	—	41	180	—	180
	金額	56	—	56	53	—	53	63	—	63	17	—	17	80	—	10
油椰子 核	數量	30,622	—	30,622	36,802	—	36,802	41,471	—	41,471	47,489	—	47,489	43,805	—	43,805
	金額	1,201	—	1,201	1,748	—	1,748	2,950	—	2,950	2,349	—	2,349	1,747	—	1,747
油	數量	143,191	—	143,191	172,366	—	172,366	196,895	—	196,895	220,702	—	220,702	231,576	—	231,576
	金額	13,637	—	13,637	21,292	—	21,292	26,101	—	26,101	16,527	—	16,527	15,773	—	15,773
カポック繊維	數量	2,293	23,360	25,653	2,561	25,878	28,439	2,487	16,511	19,018	3,515	13,829	16,344	3,913	7,231	11,144
	金額	556	5,695	6,271	691	6,702	7,393	1,002	6,429	7,431	1,012	5,417	6,429	56	103	159
カポック種子	數量	4,206	12,893	17,199	4,839	16,843	21,702	4,703	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]	9,088	[illegible]	[illegible]	[illegible]
	金額	20	365	485	147	513	660	163	[illegible]	580	95	91	186	853	7,732	8,585
カポック油	數量	—	4,373	4,373	—	2,981	2,981	—	3,239	3,239	—	1,696	1,696	—	6,539	6,539
	金額	—	611	611	—	478	478	—	448	448	—	152	152	—	504	504
カポック種子粕	數量	—	12,050	12,050	—	23,529	23,529	—	17,887	17,887	—	13,254	13,254	—	21,170	21,170
	金額	—	192	192	—	437	437	—	340	340	—	267	267	—	297	297
肉豆蔻 實	數量	983	3,082	4,065	758	3,334	4,192	906	3,509	4,415	898	3,079	3,977	760	3,455	4,215
	金額	209	582	791	218	728	946	270	961	1,231	331	922	1,253	245	892	1,137
肉豆蔻 皮	數量	159	453	612	147	518	665	153	556	709	148	574	722	116	584	700
	金額	169	460	629	159	538	697	183	659	842	173	692	865	113	589	702
胡椒	數量	178	58,569	58,747	159	78,264	78,423	165	31,118	31,283	230	54,597	54,827	94	69,885	69,979
	金額	40	11,540	11,589	22	10,762	10,784	33	6,960	6,993	34	8,572	8,606	13	9,798	9,811
ガンビル	數量	2,991	3,144	6,135	3,379	3,322	6,701	3,135	2,786	6,121	3,289	1,863	5,152	3,262	4,198	7,460
	金額	572	601	1,173	752	750	1,512	668	558	1,226	793	449	1,242	824	1,060	1,884
香油	數量	698	1,424	2,122	730	1,427	2,157	769	1,310	2,099	1,238	1,671	2,909	2,076	2,237	4,313
	金額	504	1,266	1,770	498	1,151	1,649	557	2,301	2,858	658	2,343	3,001	777	2,229	3,006
硬質樹脂	數量	92,346	—	92,346	78,217	—	78,217	86,602	—	86,602	90,079	—	90,079	108,620	—	108,620
	金額	7,200	—	7,293	9,033	—	9,033	15,046	—	15,046	9,186	—	9,186	10,625	—	10,625
米糠(1)	數量	—	27,428	27,428	—	52,165	52,165	—	76,650	76,650	—	49,948	49,948	—	50,392	50,392
	金額	—	1,247	1,247	—	2,210	2,210	—	3,431	3,431	—	2,118	2,118	—	2,233	2,233
カッサヴァ澱粉(2)	數量	33,175	124,543	157,718	43,107	246,505	289,612	90,144	351,129	441,273	71,685	191,965	263,550	125,999	159,500	285,499
	金額	1,906	4,998	6,904	2,471	9,308	11,779	5,485	12,898	18,383	3,050	6,119	9,169	4,779	5,122	9,901
椰殼炭	數量	—	84,004	84,004	—	173,077	173,077	—	214,871	214,871	—	101,137	101,137	—	93,306	93,306
	金額	—	2,673	2,673	—	4,393	4,393	—	6,766	6,766	—	3,166	3,166	—	2,981	2,981
落花生	數量	—	12,434	12,434	—	21,706	21,706	—	25,365	25,365	—	21,407	21,407	—	15,811	15,811
	金額	—	966	966	—	1,976	1,976	—	2,202	2,202	—	2,150	2,150	—	1,342	1,342
落花生油	數量	—	4,953	4,953	—	7,225	7,225	—	9,117	9,117	—	10,331	10,331	—	14,325	14,325
	金額	—	704	704	—	1,311	1,311	—	1,904	1,904	—	1,991	1,991	—	2,250	2,250
椰子	數量	—	47,411	47,411	—	53,785	53,785	—	56,390	56,390	—	62,865	62,865	—	57,735	57,735
	金額	—	3,554	3,554	—	3,933	3,933	—	5,704	5,704	—	5,996	5,996	—	4,090	4,090
サゴ椰子	數量	—	41,502	41,502	—	47,630	47,630	—	37,734	37,734	—	28,125	28,125	—	37,119	37,119
	金額	—	1,034	1,034	—	1,488	1,488	—	1,753	1,753	—	946	946	—	1,757	1,757
藺草	數量	—	11,822	11,822	—	11,416	11,446	—	14,850	14,850	—	14,567	14,667	—	11,727	11,727
	金額	—	976	976	—	939	939	—	1,067	1,067	—	1,094	1,094	—	900	900
その他(4)	數量	1,088	42,882	43,970	81	47,539	47,620	2,737	52,756	55,493	2,951	45,163	48,114	3,962	41,340	45,302
	金額	70	4,312	4,412	33	4,312	4,345	316	5,003	5,319	312	4,747	5,059	468	4,432	4,900
合計	數量	1,999,324	1,275,937	3,275,261	1,652,548	1,628,589	3,281,237	2,161,725	1,817,115	3,978,840	1,941,516	1,477,047	3,418,563	2,462,050	1,457,307	3,919,357
	金額	194,833	105,963	300,796	228,772	133,579	362,351	358,119	301,934	660,053	257,016	169,396	426,412	309,387	185,312	494,699

(註) (1) 農園經營・住民經營の區別は原料の生産に基いてなされたものである。從つて住民經營産の農産産物が（茶・煙草の如く）農園又は工場に於て處理せらるゝ場合にも住民經營産と看做される。
(2) 精密を含む。 (3) チェックス及びフィカスを含む。 (4) 蔴種草、クロツタ及び綿種草を合計せるもの。
(5) コプラ等産。 (6) 米、玉蜀黍、小麦、粟の合計。 (7) 農園産の輸出高は概定數字。
(8) 大豆、花生、胡麻種子、下剤粕、肉桂、安息香、アナタス粗、ケラトケ種子、丁香、パチュリ草、棉花、馬鈴薯、果實、樹脂類等
*1) De Landbouwexportgewassen van Nederlandsch-Indië in 1930, blz. 26~27, in 1931, blz. 32~33, in 1932, blz. 38~39, in 1933, blz. 48~49, in 1934, blz. 54~55, in 1935, blz. 54~55, in 1936, blz. 60~61, in 1937, blz. 60~61, in 1938, blz. 60~61, in 1939, blz. 62~63 より作成。

蘭印主要農林産物生産高表[*1]

（単位 瓩）

	一九三〇年			一九三一年			一九三二年			一九三三年			一九三四年			一九三五年			一九三六年			一九三七年			一九三八年			一九三九年		
	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計	農園經營	住民經營	合計
砂糖	2,915,865	63,044	2,978,909	2,772,443	53,815	2,826,258	2,560,182	50,507	2,610,689	1,372,585	44,301	1,416,886	636,104	42,285	678,389	509,659	55,014	564,673	574,710	57,660	632,370	1,379,924	72,649	1,452,573	1,375,510	91,193	1,466,703	1,562,462	87,975	1,650,437
ヘヴィアゴム	153,530	×	×	165,799	×	×	150,901	×	×	172,202	×	×	192,830	×	×	154,882	×	×	161,722	×	×	245,041	×	×	175,078	×	×	198,086	×	×
ガタペーチャ	110	—	110	98	—	98	135	—	135	82	—	82	98	—	98	111	—	111	121	—	121	128	—	128	110	—	110	193	—	193
コーヒー[1]	40,313	54,236	94,549	48,745	54,499	103,244	62,715	69,958	132,673	56,702	49,742	106,444	64,277	48,759	113,036	55,307	55,640	110,947	50,383	74,530	124,913	62,404	69,627	132,031	45,579	61,729	107,308	58,319	55,000	113,319
茶[2]	57,628	14,363	71,991	66,406	14,903	81,309	69,513	12,424	81,937	63,494	11,798	75,292	59,534	11,759	71,293	58,793	12,622	71,415	62,952	12,629	75,581	62,346	12,170	74,516	68,332	12,206	80,538	70,611	12,548	83,159
煙草[3]	60,575	67,400	127,975	63,976	77,300	141,276	45,114	63,700	108,814	38,557	58,400	96,957	44,219	75,400	119,619	42,319	66,300	108,619	45,562	59,100	104,662	47,473	67,600	115,073	40,704	66,100	106,804	39,003	62,700	101,703
キナ[4]	11,878	6	11,884	10,625	12	10,637	10,120	28	10,148	7,534	27	7,561	8,161	22	8,183	8,607	37	8,694	9,879	129	10,008	10,425	138	10,563	10,955	233	11,188	12,391	228	12,619
ココア	1,202	×	×	1,301	×	×	1,449	×	×	1,680	×	×	1,600	×	×	1,729	×	×	1,327	×	×	1,682	×	×	1,584	×	×	1,733	×	×
ゴプラ	25,775	527,600	553,376	23,039	498,100	521,139	26,505	629,000	655,505	27,551	658,200	685,751	27,046	609,200	636,246	29,741	665,800	695,541	27,462	698,400	725,862	31,101	723,500	754,601	47,247	614,900	862,147	37,674	798,800	836,474
コカ	363	—	363	252	—	252	154	—	154	160	—	160	104	—	104	124	—	124	143	—	143	110	—	110	99	—	99	143	—	143
油椰子 核	9,821	—	9,821	12,805	—	12,805	18,413	—	18,413	22,805	—	22,805	24,878	—	24,878	30,615	—	30,615	36,136	—	36,136	41,826	—	41,826	48,036	—	48,036	53,766	—	53,766
油椰子 油	49,752	—	49,752	64,457	—	64,457	90,072	—	90,072	112,154	—	112,154	130,647	—	130,647	147,534	—	147,534	175,236	—	175,236	199,092	—	199,092	226,668	—	226,668	243,683	—	243,683
カポック[1] 繊維	1,779	×	×	1,885	×	×	1,819	×	×	1,865	×	×	2,351	×	×	2,396	×	×	2,678	×	×	3,077	×	×	2,385	×	×	2,475	×	×
カポック[1] 種子	3,278	×	×	3,517	×	×	3,280	×	×	3,477	×	×	4,385	×	×	4,450	×	×	5,061	×	×	5,615	×	×	5,187	×	×	4,561	×	×
陸稲[2] 實	495	×	×	562	×	×	454	×	×	465	×	×	366	×	×	414	×	×	366	×	×	335	×	×	476	×	×	389	×	×
陸稲[2] 花	90	×	×	88	×	×	72	×	×	57	×	×	59	×	×	78	×	×	69	×	×	66	×	×	83	×	×	70	×	×
胡椒	247	33,224	33,471	130	31,549	31,679	119	36,141	36,260	148	44,156	44,304	98	48,520	48,618	178	60,561	60,739	159	77,495	77,654	155	32,529	32,684	230	54,610	54,840	93	69,931	70,024
ガンビル[1]	4,481	9,082	13,563	3,226	10,979	14,205	3,272	9,451	12,723	3,368	9,444	12,812	3,296	10,075	13,371	2,991	9,939	12,930	3,379	10,126	13,505	3,335	7,931	11,266	3,289	7,636	10,925	3,262	9,784	13,046
キレ油[3]	472	70	542	418	85	503	414	104	518	506	125	631	606	255	861	508	202	710	399	170	569	492	273	765	639	494	1,133	730	448	1,178
硬質繊維	16,406	×	×	19,257	×	×	19,996	×	×	21,294	×	×	25,934	×	×	25,319	×	×	29,535	×	×	34,112	×	×	40,769	×	×	45,200	×	×
米[3] 水稲	—	6,725,600	6,725,600	—	6,482,600	6,482,600	—	6,884,400	6,884,400	—	7,007,400	7,007,400	—	7,155,500	7,155,500	—	7,784,400	7,784,400	—	8,014,100	8,014,100	—	8,017,800	8,017,800	—	8,405,200	8,405,200	—	8,492,000	8,492,000
米[3] 陸稲	—	579,900	579,900	—	532,000	532,000	—	543,300	543,300	—	525,300	525,300	—	489,300	489,300	—	477,900	477,900	—	530,900	530,900	—	468,700	468,700	—	510,400	510,400	—	472,800	472,800
カッサヴァ根[3]	—	5,229,000	5,229,000	—	5,925,600	5,925,600	—	6,222,000	6,222,000	—	5,831,300	5,831,300	—	5,895,100	5,895,100	—	6,426,800	6,426,800	—	7,567,400	7,567,400	—	7,733,000	7,733,000	—	8,254,600	8,254,600	—	8,443,200	8,443,200
甘藷[3]	—	1,102,100	1,102,100	—	966,000	966,000	—	957,800	957,800	—	1,142,000	1,142,000	—	1,252,100	1,252,100	—	1,558,000	1,558,000	—	1,593,300	1,593,300	—	1,446,200	1,446,200	—	1,444,500	1,444,500	—	1,535,600	1,535,600
玉蜀黍[3]	—	2,021,900	2,021,900	—	1,930,800	1,930,800	—	1,902,300	1,902,300	—	2,126,800	2,126,800	—	1,775,100	1,775,100	—	2,058,900	2,058,900	—	2,293,600	2,293,600	—	2,129,600	2,129,600	—	2,016,100	2,016,100	—	2,070,200	2,070,200
落花生[3]	—	166,000	166,000	—	142,100	142,100	—	161,500	161,500	—	160,800	160,800	—	156,300	156,300	—	155,100	155,100	—	179,400	179,400	—	195,400	195,400	—	214,900	214,900	—	188,900	188,900
大豆[3]	—	127,800	127,800	—	128,500	128,500	—	149,000	149,000	—	181,500	181,500	—	177,600	177,600	—	205,900	205,900	—	252,200	252,200	—	274,600	274,600	—	296,600	296,600	—	332,500	332,500

（註）(1) 住民產の數字は外國に於ける住民產コーヒーの輸出可能高に基いて推定されたものである。
(2) 住民產の數字は農園に依つて買入れられたる住民茶の數量である。なほ農園の產額は小農園よりの買入分を含む。
(3) 農園の產額は住民經營よりの買入分を含む。住民產として掲げたる數字はジャバに於ける住民煙草の推定生產高である。
(4) 住民產の數字は純生產高として掲げられたる數字より農園の產額を控除して得たるものである。
(5) 歐米人農園の產額に住民よりの買入分を含む。
(6) この數字は不完全である。なほこの他に、生產面積の不明なるバンダの肉豆蔻園より產出される實並びに花の數量は次の如くである。實——940(1930年)，908(1931年)，624(1932年)，716(1933年)，452(1934年)，569(1935年)，492(1936年)，521(1937年)，421(1938年)，360(1939年)，花——140(1930年)，135(1931年)，48(1932年)，134(1933年)，79(1934年)，93(1935年)，78(1936年)，87(1937年)，71(1938年)，57(1939年)。
(7) 合計欄の數字は外國に於ける輸出可能高に基くもので，住民產の數字はこれより農園の產額を控除せる推定數字である。
(8) 住民產の數字は住民工業の生產高である。農園の產額に買入分を含む。
(9) ジャバ及びマドゥラのみ。但し一九三四年以降はバリ及びロンボクを含む。
× 不明。
*1) Indisch Verslag, 1930～1940 及び De Landbouwexportgewassen van Nederlandsch-Indië in 1930, 1931, 1932, 1933, 1934, 1935, 1936, 1937, 1938, 1939 より作成。

農園の數並びに耕地面積*1)

（單位 ヘクタール）

地方別	年次	官營農園			私有地**			永代借地			王領租借地			農業租借地			住民よりの短期租借地			合計		
		農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積	農園數	總面積	植付面積
ジャワ及びラ	一九三〇年	17	17,656	16,998	71(2)	347,523	43,694	844(2)	566,267	374,593	91	70,094	61,039	—	—	—	197(129)	204,873	197,280	1,200	1,206,413	693,604
	一九三七年	14	20,525	18,493	62(1)	320,961	45,274	891	558,474	386,319	76	60,410	45,306	—	—	—	134(136)	93,930	92,287	1,177	1,054,300	587,679
	一九三八年	14	20,531	18,498	63(2)	339,512	45,411	889	558,193	388,818	73	59,572	45,135	—	—	—	148(139)	101,394	100,003	1,187	1,079,202	597,865
	一九三九年	14	20,582	18,601	66(2)	329,642	46,929	894(1)	559,657	393,111	75	60,188	48,117	—	—	—	132(142)	102,213	100,710	1,181	1,072,282	607,468
外領	一九三〇年	4	23,362	6,026	4	766	241	714(9)	530,951	131,165	—	—	—	525(1)	1,114,361	392,293	—	—	—	1,247	1,669,440	529,725
	一九三七年	2	10,679	7,278	5	741	459	765(22)	442,682	148,728	—	—	—	439(1)	952,719	405,942	1(7)	417	417	1,212	1,407,238	562,824
	一九三八年	2	10,679	7,314	5	741	414	768(22)	452,774	154,805	—	—	—	439(1)	941,331	410,125	1(7)	377	368	1,215	1,405,902	573,026
	一九三九年	2	10,687	7,616	5	814	436	773(21)	459,725	159,959	—	—	—	438(2)	950,311	428,659	1(6)	109	97	1,219	1,421,646	596,767
蘭印全土	一九三〇年	21	41,018	23,024	75	348,289	43,935	1,558	1,097,218	505,758	91	70,094	61,039	525	1,114,361	392,293	197	204,873	197,280	2,467	2,875,853	1,223,329
	一九三七年	16	31,204	25,771	67	321,702	45,733	1,656	1,001,156	535,047	76	60,410	45,306	439	952,719	405,942	135	94,347	92,704	2,389	2,461,538	1,150,503
	一九三八年	16	31,210	25,812	68	340,253	45,825	1,657	1,010,967	543,623	73	59,572	45,135	439	941,331	410,125	149	101,771	100,371	2,402	2,485,104	1,170,891
	一九三九年	16	31,269	26,217	71	320,456	47,365	1,667	1,019,382	553,070	75	60,188	48,117	438	950,311	428,659	133	102,322	100,807	2,400	2,493,928	1,204,235

* 重複を避ける爲め各種類別農園數の中に算入されてゐない農園の數は括弧内に示した。

** 專ら住民農林產物の植付けらるゝ耕地を除く。

1) Indisch Verslag, 1940, blz. 266～269 より作成。